

令和3年度

京都市立醍醐中学校

学校だより

第7号

令和3年8月25日 文責 林



2学期が始まる

裏面に夏休みの活動の様子を載せています。ご覧ください

7月21日(水)から始まった夏休みが終わり、8月25日(水)から2学期が始まりました。今年は、35日間の夏休みでした。有意義に過ごすことができたでしょうか。

まず何より、元気に、そして笑顔で登校してくる生徒の皆さんに会えてたいへんうれしく感じました。大きなけがやトラブルがなく夏休みが過ごせたことを喜びたいと思います。

今年の夏休みは、気温が35度を超える猛暑日が続いた後に梅雨の時期のような雨天が続く、いつもとはちがった夏休みになりました。そして、夜に耳をすませば虫の音が聞こえ、日中は「ツクツクボウシ」が鳴き始めました。季節は確実に進んでいます。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束せず、感染対策に神経を使う毎日でした。8月20日(金)に京都府に緊急事態宣言が発令されました。学校生活でも一層の感染対策をし、「学びを止めない」ことを第一にして教育活動を行っていかうと考えています。保護者の皆様、地域の皆様には、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

2学期は、大きな行事が予定されています。文化の部、体育の部、合唱の部からなる醍中祭(学校祭)、3年生の修学旅行、醍醐寺さんとの連携授業などです。全校の一人一人の生徒が、どこかの場面で輝くように願っています。そして笑顔あふれる行事になることを願っています。

「思いやり」について考える

私たちは、社会の中で多くの人たちと支えあい、関りをもって生きています。社会の中で大切にしたいことのひとつに「思いやり」「お互いさま」があるのではないのでしょうか。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束せず、日常生活が制約を受けている現状では、特に「思いやり」「お互いさま」がキーワードであると感ずます。

ここでは、少し違った視点から「思いやり」について考えたいと思います。東京大学名誉教授の月尾嘉男さんは、著書の中で北アメリカ大陸の乾燥地帯で生活する先住民族、ナヴァホの人々の集落を訪れた時のことを書いています。主要作物であるトウモロコシを栽培する畑で乾燥地帯のわずかな雨水だけでも育つように、日本の畑の何倍もの間隔をあけて植付けが行われていたそうです。そこには「水路をつくって川から水を引いてくる」という発想自体がないようです。ナヴァホの人々には「現在の環境を未来に引き継ぐために、自分たちの都合で勝手に改造してはならない」という考えがあるということです。また、北アメリカ大陸には、他にも「七世代先の子孫のことを考えて物事を決定する」という哲学をもつ先住民族、イロコイという人々も生活しているそうです。これは、未来に生まれてくる子孫たちが望ましいと思うであろう状態を想定したうえで今行すべき開発を選択するという考え方です。ナヴァホやイロコイの人々の考え方は、未来の人々に対する「思いやり」といえるでしょう。

皆さんは、SDGs(持続可能な開発目標)について聞いたことがあるでしょう。2030年に向けて世界全体で達成を目指す17の目標です。例えば「貧困をなくそう」「質の高い教育をみんなに」「ジェンダー平等を実現しよう」「安全な水とトイレを世界中に」などです。地球上で起こっている環境問題や社会問題から目を背けて「自分さえよければ、今さえよければ」という生き方を続けるなら世界は近いうちに立ちゆかなくなるでしょう。私たちが、「望ましい未来のために、一人一人ができること」を考えて実行することが未来の人々への「思いやり」につながるでしょうし、私たちの責務ともいえるでしょう。



夏季学習会

7月28日（水）から30日（金）に実施しました。午前中、各自のペースでみっちり学習に取り組みました。黙々と課題に取り組む生徒もいれば、担当の先生にわからないところを質問して学習する生徒もいました。参加した生徒の皆さんは、マスクを着用して、手洗いを励行するなど感染対策をしてくださいました。朝から気温が上がって暑くなりましたが、吹き出る汗をふきながら懸命に学習する生徒の様子を見ていると、努力は必ず実を結びと信じています。

生徒会リーダーズプロジェクト

8月3日（火）9時から、いきいき交流ルームで生徒会の「リーダーズプロジェクト（リーダー研修会）」が行われました。

生徒会本部と各クラス総務委員と有志で実施しました。生徒の皆さんは、感染拡大予防のため、間隔を取り、換気をしながら、マスク着用で参加してくださいました。活発な議論が展開されました。

気持ちをリラックスさせるために和気あいあいな雰囲気アイスブレイキングをした後、「学校改善計画」を話し合いました。醍醐中学校をよりよくしようと様々なアイデアを出し合い、グループで話し合いをして全体発表へつなげました。全体発表の場で他のグループから意見も出され、熱がこもっていました。リーダーズプロジェクトで話し合った「学校改善計画」は、2学期に各クラスで発表され具体的に動き始めます。今後に期待しています。

昼食後は、学校祭横断幕を作成しました。

いつも言っていることですが、生徒会活動が活発な学校は、学校全体が元気です。醍醐中学校は、伝統的に生徒会活動が活発です。一層活発な生徒会活動にするためにリーダーズプロジェクトの成果を活かしてってください。また、リーダーズプロジェクトに参加した生徒の皆さんはリーダーシップを発揮して生徒会活動を引っ張ってほしいです。そして全校生徒の力が結集することを願っています。



醍醐寺万灯会

8月5日（木）の夕刻から醍醐寺では恒例の万灯会が行われました。

醍醐中学校は伝統的に1年生が大灯籠を作成し、奉納してきました。昨年に続き今年もコロナウイルス感染症対策で、集まって制作することが出来ないため、個人が作ったものを貼り合わせる形で作成しました。

小学生の置灯籠は金堂前に、中学生の大灯籠は五重塔を取り囲むように配置されていました。

コロナウイルス感染症対策で、お茶やそうめんの接待がなく、少しさみしい感じを受けましたが、ゆっくり鑑賞することができました。

万灯会の鑑賞を兼ねて、地域パトロールも行われました。PTAの方々をはじめ、地域の諸団体の方々、小・中学校の先生方ありがとうございました。

